

卒業研究

必修

開講年次：4年次全期

科目区分：演習

単位：4単位

講義時間：120時間

■**科目のねらい**：卒業研究は、看護学部が育成する人材像に求められる「課題解決能力を高めるための自己研鑽能力」の育成に連なる授業科目です。4年間の集大成として、学生自身が関心のある看護現象を選択し、自らの問題意識をもって研究課題を追求します。研究の基本的な過程をたどりながら研究活動に取り組み、その成果をまとめ、報告します。この学修を通して、看護現象の捉え方や援助のあり方、看護職者としての役割について認識を深めることをねらいとします。

- 到達目標**：①看護領域に研究課題を見出すことができる。
②研究の基本的なステップに基づいて、研究計画書を立案することができる。
③研究計画書に基づいて、研究活動を遂行できる。
④研究成果を抄録にまとめ、示説発表することができる。
⑤研究活動を通して、自己の看護観や専門職者としての役割を洞察できる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

○大野 夏代・猪股 千代子・小田 和美・河原田 まり子・川村 三希子・定廣 和香子・スーディ神崎 和代・松浦 和代・山本 勝則・上村 浩太・貝谷 敏子・菊地 ひろみ・清水 光子・菅原 美樹・古都 昌子・村松 真澄・守村 洋・渡邊由加利・神島 滋子・工藤京子・小坂美智代・櫻井 繭子・田中 広美・原井 美佳・藤井 瑞恵・三上 智子・矢野 祐美子・山本 真由美・石引 かずみ・小田嶋 裕輝・柏倉 大作・近藤 圭子・田仲 里江・坂東 奈穂美・檜山 明子・御厩 美登里

■**授業計画・内容**：

- 第1～2回 オリエンテーション：授業計画の説明（大野）
研究課題・研究計画書・指導教員の確認（大野）
第3～28回 研究活動（指導教員）
第29～30回 中間報告会：関連領域の少人数グループで開催する。
開催日時および要領は指導教員の指示による（指導教員）
第31～40回 研究活動（指導教員）
第41～42回 卒業研究発表会および抄録原稿の提出に関するオリエンテーション（大野）
第43～52回 研究活動（指導教員）
第53～60回 卒業研究発表会：示説（全教員）

■**教科書**：指定なし

■**参考文献**：指導教員から助言を得、研究課題に応じて選択すること。

■**成績評価基準と方法**：卒業研究の全活動プロセスを通じて、学修成果を総合的に評価します。

評価方法	到達目標					評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④	到達目標⑤		
発表	○	○	○	◎	○	中間報告会および卒業研究発表会の内容	30
提出課題	○	◎	◎	◎	○	提出物の目標到達度	50
授業態度	○	○	◎	○	◎	研究活動に対する取り組み姿勢	20
出席						2/3以上の出席	欠格要件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：本科目は、全既習科目の理解を基礎とします。また、研究方法論の実践編に位置づけられます。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：指導教員による個別指導のもと、研究活動の実践を通して看護研究の意義とおもしろさを実感していただきたいと思います。